

# 「家がいいね」 第156号

いせ在宅医療クリニック 広報月刊紙

2017.5.8



外宮の森、山末神社辺り。こずえまで水が上がり新緑で山が笑う。常緑樹も古い葉を振り落とす。フジは今が自己主張最盛期。

頭だけは、前の世界に戻りたいようだけど

連休も終わり、少し静かな世間に戻りますでしょうか。私は遠出を控えて穏やかな日々でした。

ニュースも嘘か誠か、様々な罵(のの)しりが飛び交い、自ら落ち着いて考えることが必要です。

男性は女性に比べて、身体感覚に基盤を置く事が苦手のようで、頭で考えた通りに実現させようとしています。思うようにならないと、上手く物事が回っていた時のようにと焦った対応になります。

この願望の映画が、バックトゥーザフューチャーでした。ある時違つ決断をしたら、それを起点とした別の裏世界が出来ているパラレルワールドの空想です。誰もが「あの時からやりなおしたい」と願うのは分かりますが、現実には覆水盆に返らず。

この国あの国は執拗に「やりなおしたい」という考えが頭を占めた強運男に最大権力を手渡してしまつたのが間違いの元。議会も裁判所も銀行もマスコミ幹部も、お友達達の任命で占めてしまった。現実とは合わないワールドを構築していくのだが、今は友達ら、ほころびは絶えず出現するのだが、今は友達同士が口裏を合わせて行く。そこでは無知よりも無恥で通す原則が決まっている。言葉を換えたら、それで辻褄は合う。権力者からの無理難題は忖度(そんたく)に換えたら、見栄えも良いようだし。



朕惟ニ我カ皇祖皇宗國ヲ肇ムルコト宏遠ニ徳ヲ樹ツルコト深厚ナリ  
我カ臣民克ク忠ニ克ク孝ニ徳兆心ヲ一ニシテ世々厥ノ美ヲ濟セルハ此  
レ我カ國體ノ精華ニシテ教育ノ淵源亦實ニ此ニ存ス爾臣民父母ニ孝ニ  
兄弟ニ友ニ夫婦相和シ朋友相信シ恭儉己レヲ持シ博愛衆ニ及ホシ學ヲ  
修メ業ヲ習ヒ以テ智能ヲ啓發シ徳器ヲ成就シ進テ公益ヲ廣メ世務ヲ開  
キ帝ニ國事ヲ重シ國法ニ遵ヒ一旦緩急アレハ義勇公ニ奉シ以テ天壤無  
窮ノ忠理ヲ扶翼スヘシ是ノ如キハ獨リ朕カ忠良ノ臣民タルノミナラス  
又以テ爾祖先ノ遺風ヲ顯彰スルニ足ラン  
斯ノ道ハ實ニ我カ皇祖皇宗ノ遺訓ニシテ子孫臣民俱ニ遵守スヘキ所  
之ヲ古今ニ通シテ譲ラス之ヲ中外ニ施シテ悖ラス朕爾臣民俱ニ奉々  
服膺シテ成其徳ヲ一ニセントラ庶幾フ  
明治二十三年十月三十日  
御名 御璽

## 父祖から聞いた教育勅語

小学校にあつた御真影と奉安殿、講堂で校長が読み上げる右の教育勅語をずっと頭を垂れて聞くようやく終わったと頭を上げると同時に一斉の鼻すすりの音。こんな時代と笑って教えてくれたが、天皇陛下の赤子として滅私奉公の規範だったと。それゆえ帰還できたものの祖父は満州へ、徴兵の父は南方へ、内地召集の叔父は戦後だが戦病死。右の文面「臣民としての父母に考、兄弟に友、夫婦に和」など、その一部を言い訳として今の世に復活させる動きは真つ平で、御免蒙りたい。例えば神に申し上げる祝詞(のりと)は、このような命令調ではない。かしこみかしこみ申す。

## 秋山正子さん講演会、6月25日

暮らしの中で看とること

最期まで住み慣れた地域で  
生き生きとした支え

津市 三重県総合文化センター  
みえ生と死を考える市民の会主催



聞き書き教室の伊勢研修、連続開催

7月16日 坂口美和先生 詳細はチラシにて  
8月5日、9月16日、小田豊二さんが講師  
会場ホームホスピスあこや2階。申込み当院でも

「終わりをければ」いせの会主催



自宅での人生を 最期まで支援します

〒516-0805 三重県伊勢市御園町高向 927  
電話 0596-20-8104  
ファクス 0596-20-8105  
メール homecare@kr.tcp-ip.or.jp  
ホームページ http://isezaitaku.com

↑バックナンバーはここで閲覧可